

知財ビジネス評価書

知財ビジネス評価書において、
対象企業の、将来の事業性を評価致します。

それは、

その事業は、将来において、キャッシュフローを生み出せるのか？
という問いに対して、

以下の問いに答えることにより、その可能性を評価致します。

市場は魅力的か？

競合の影響力は強いのか？

自社の競争優位性はあるか？それは何か？

コンテンツ

1. 対象企業について
 1. 会社概要
 2. 財務の状況（定性・定量分析含む）
 3. 事業内容・ドメインについて（既存事業と新規事業）
2. 外部環境分析
 1. マクロ環境分析（PEST）*
 2. ミクロ環境分析（業界分析：事業別に実施）
 1. 5F分析*
 2. 特許情報に基づく業界状況分析
3. 競合分析
 1. 競合の定義
 2. 競合の保有特許について
 3. 競合の製品について（HPチェック、最新ニュース、など）
4. 内部環境（自社）分析（SWOT、VC等から適宜選択します）
 1. SWOT分析（ヒアリング結果も加味）
 2. VC分析（ヒアリング結果も加味）
 3. 自社保有特許について
 4. アライアンスについて
5. ヒアリング調査（主に、社長、社員のモチベーションについて）
6. 総合分析

*必要に応じて実施します（実施しないケースあり）。

1.対象企業について

1-1.会社概要

| 会社概要

社名	XXXX株式会社
創立	19XX年X月
本社所在地	〒XXX-XXXX XX県XX市XXX15
代表者	代表取締役社長XXXX
資本金	X,XXX万円
従業員数	XXX名
事業内容	電子機器の開発、製造、販売
URL	https://www.XXXXXX.com

1-2.財務の状況

P/L、B/Sをベースに、定性・定量の両面から、現在の対象企業の状況を整理致します。

基本的な項目として、以下の観点から整理致します。

- 本業で儲けているか？（営業利益）
- 現預金は十分か？
- 運転資金は十分か？
- その他、ROE、ROA、などの指標を参考に、収益性、効率性、安全性、等の定量分析を致します

1-3.事業内容・ドメインについて

既存事業		
XXX事業	OEM/ODM事業	
新規事業		
XXXモニタリング機器	睡眠モニタリングシステム	XXX

1-3.新規事業 睡眠モニタリングシステム

非拘束型睡眠モニタリングシステム

- ・センサーボードをベッドマット又は枕の下に置く（非接触、非拘束）だけで、睡眠時の体動、呼吸数、心拍数 を検知し記録する。
- ・同時に環境センサ（温度、湿度、照度、音）を設置することにより、快適な睡眠環境の確立が可能となる。
- ・長時間にわたり情報を収集することにより、日常的な健康管理に役立てる。

XXXXXより引用

2013年からは、医療ヘルスケア分野への進出準備として、XX設向け睡眠モニタリングシステムの開発を始めた。開発中の「非拘束型睡眠モニタリングシステム」は、XXXXの保有特許をライセンス契約により活用。ベッドに取り付けたセンサーから、体動・呼吸・心拍を読み取る際にXXXXXXXXXX処理という特許技術を採用し、商品化についてもXXXXと共同で取り組んでおり、販売計画に入るところである。

XXXXXXXXXXXXより抜粋

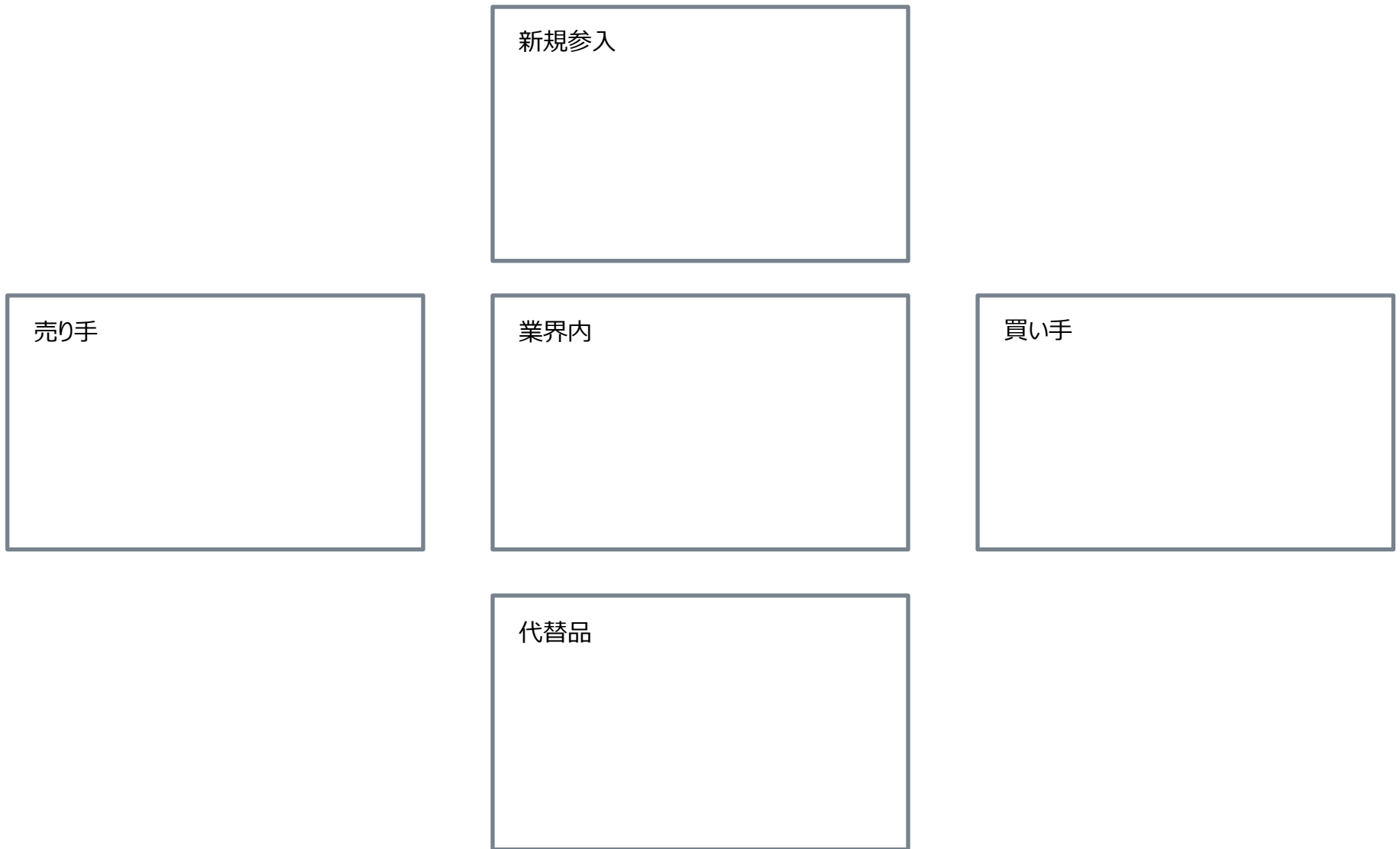
2.外部環境分析

2-1.PEST分析* (参考)

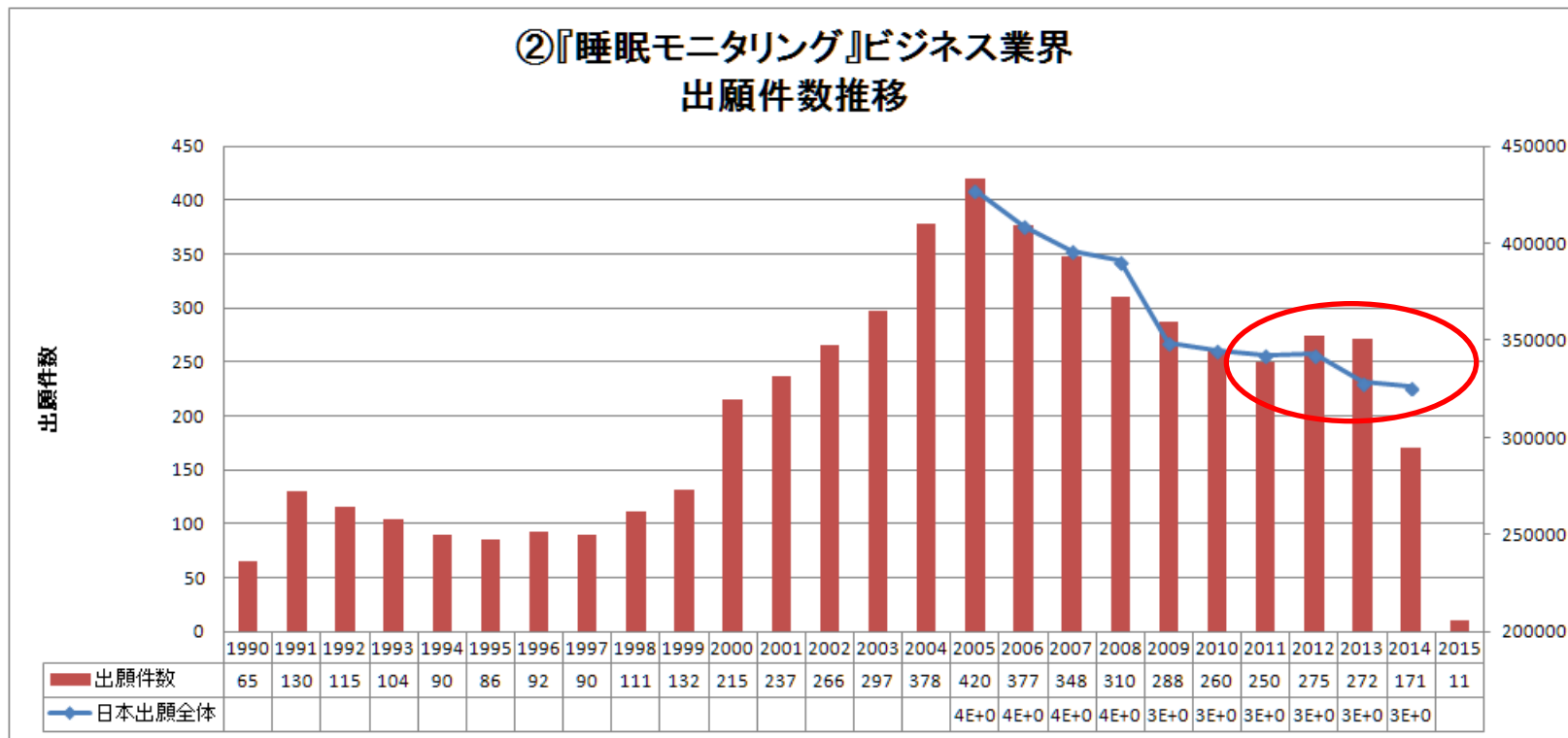
Politics	Economy
Social	Technology

2-2.ミクロ環境分析（業界分析）

2-2-1.5F分析* (参考)



2-2-2.特許情報に基づく市場状況分析①

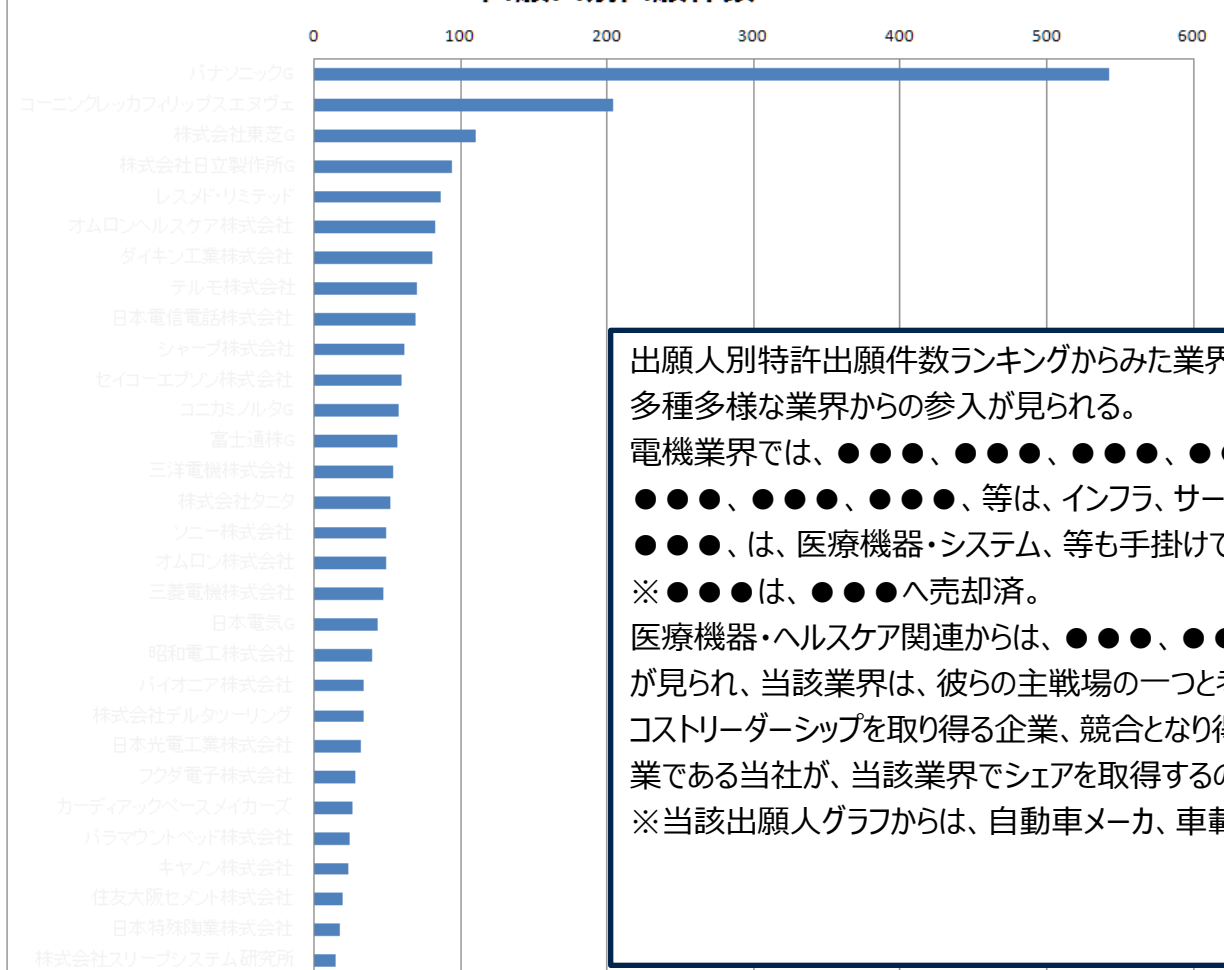


特許出願件数推移からみた市場変化

日本国内全体の特許出願件数とほぼ同様の傾向を示しているように見えるが、日本全体出願が2013年に減少傾向を見せている一方で、睡眠モニタリング市場は若干の増加傾向を見せている。2014年は出願から18か月が経過していないため、全出願情報が出揃っていない状況ではありますが、再び減少傾向を示唆しているものの、以前出願活動が活発な市場であると言えます。

2-2-2.特許情報に基づく市場状況分析②

②睡眠モニタリングシステム
出願人別出願件数



出願人別特許出願件数ランキングからみた業界状況。

多種多様な業界からの参入が見られる。

電機業界では、●●●、●●●、●●●、●●●、●●●、●●●、●●●、など。

●●●、●●●、●●●、等は、インフラ、サーバ関連でも強みを持ち、特に、●●●、●●●、は、医療機器・システム、等も手掛けている。

※ ●●●は、●●●へ売却済。

医療機器・ヘルスケア関連からは、●●●、●●●、●●●、●●●、といったところが見られ、当該業界は、彼らの主戦場の一つと考えられる。

コストリーダーシップを取り得る企業、競争となり得る企業が多数存在しており、新規参入企業である当社が、当該業界でシェアを取得するのは、かなりの困難が予想される。

※当該出願人グラフからは、自動車メーカ、車載機メーカを除外している。

3.競合分析

3-1. 競合の定義

－外部環境（競合）－

先に示したように、『睡眠モニタリング』市場は、多くの競合がひしめき合っており、現在、各社から、侵襲型、非侵襲型含め、多くの出願がなされている。

センサとしても、圧力センサ、加速度センサ、ドップラセンサ、脈波センサ、脳波センサ、カメラ、赤外線、などなど、様々なセンサを用いた睡眠モニタリングシステムが提案されている。

－内部環境（自社）－

20XX年から、『福祉施設向け睡眠モニタリングシステム』の開発に着手している。

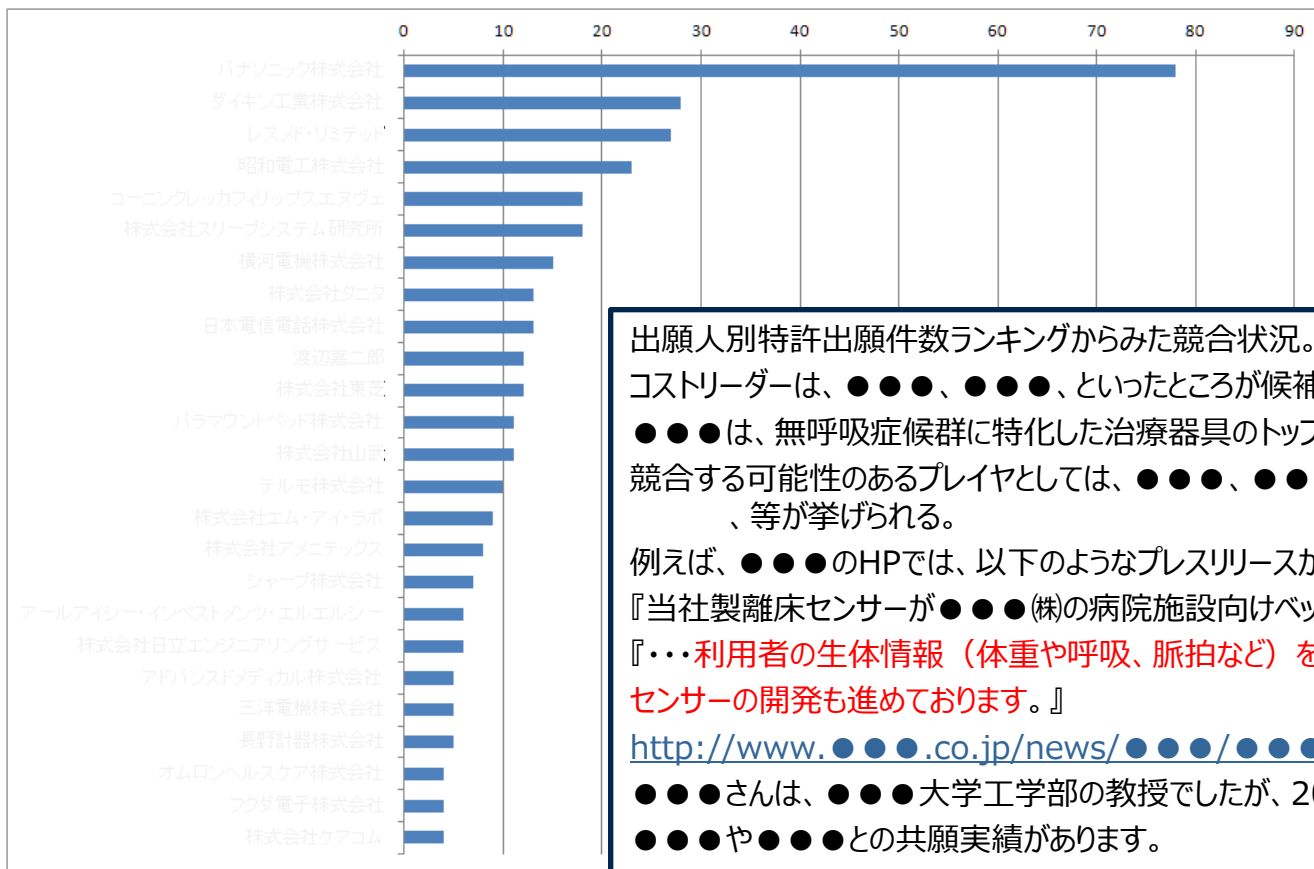
前出のXXXXの特許は、第XXXXXXXX号と考えられる。

当該特許は、前述のとおり、ベッドに取り付けたセンサから、体動・呼吸・心拍を読み取る際にXXXXXXXXXX処理を利用して、ノイズである体動信号を除去し、呼吸信号と心拍信号とを分離する技術である。

競合の定義

枕或いはマットレスに配置された圧力センサから呼吸・心拍を検知し、睡眠状態をモニタリングするシステム・装置を製造・販売している企業

3-2.競合の保有特許について



出願人別特許出願件数ランキングからみた競合状況。

コストリーダーは、●●●、●●●、といったところが候補と考えられます。

●●●は、無呼吸症候群に特化した治療器具のトップメーカーであり、当社とは競合しない。

競合する可能性のあるプレイヤーとしては、●●●、●●●、●●●研究所、●●●、●●●、等が挙げられる。

例えば、●●●のHPでは、以下のようなプレスリリースがあります。

『当社製離床センサーが●●●(株)の病院施設向けベッドに採用』

『…**利用者の生体情報（体重や呼吸、脈拍など）を測定する非接触型の睡眠（呼吸）センサーの開発も進めております。**』

<http://www.●●●.co.jp/news/●●●/●●●.html>

●●●さんは、●●●大学工学部の教授でしたが、20XX年0X月に退任されました。

●●●や●●●との共願実績があります。

※当該出願人グラフからは、自動車メーカー、車載機メーカーを除外している。

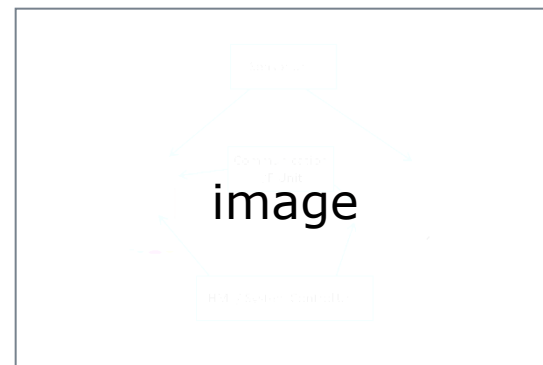
3-3.競合の製品情報等 ●●●

●●●は、睡眠センサを入口として、家電と融合したトータルソリューションを提供しています。
総合家電メーカーとしての強みを如何なく発揮しているソリューションといえます。
また、グループ企業に『●●●ホールディングス株式会社』も保有しており、メディカル方面への親和性も高いと考えられます。

睡眠計

ストレスの多い現代社会では、良質な睡眠が求められています。睡眠計は、医療機関だけでなく家庭用の測定機器として普及が広まってきています。

●●●は、制御用マイコンや状態観察するセンサ製品に加え、スマートフォンやパソコンへのデータ転送機能を実現するための通信用製品も取り扱っています。お客様のニーズに合わせたソリューションを提供します。



出典 : <http://www.XXXXXX.co.jp/jp/XXXXXX/XXXX-XXXX/XXXXXX>

3-3.競合の製品情報等 ●●●

●●●は、世界的なヘルスケア企業の一つで、睡眠分野では、主に無呼吸症候群関連に注力している模様です。
また、上述のとおり、関連企業を保有（20XX年に●●●社を買収）しており、医療分野への親和性も高いと言えます。

●●●・●●●合同会社について

●●●・●●●合同会社はハイテクME機器の開発及び輸入会社として19XX年に創業しました。

その後は呼吸医療と睡眠医療の専門企業として、高性能人工呼吸器やCPAP装置、そしてそれらの関連機器の輸入から供給まで一貫したサービスの提供に努めております。

出典： <http://www.XXXXXX.XXXXXX.co.jp/>

3-3.競合の製品情報等 ●●●

●●●は、言わずと知れた、トップ空調メーカーの一つです。

上述のとおり、●●●は、睡眠にも注力しており、当社の有力な競合他社の一つになり得る可能性が高い企業の一つといえます。

●●●株式会社、●●●株式会社、●●●株式会社、株式会社●●●の4社は、睡眠から人々の健康を考えるプロジェクト「●●●」を、●●●の日※に合わせて20XX年XX月XX日（金）に設立、同日にWEBサイトを開設いたします。

※●●●の日：●●●協会（●●●）が制定

image

image

出典：<http://www.XXXXXX.co.jp/XXXXX/XXXX/XXXXXX/index.html>

●●●は、チューブ内の空気の振動を測るセンシング技術で、心拍や呼吸、体動（身じろぎ）、さらには睡眠やストレスといった身体情報を測定することができます。

ブレスレットのように何かに拘束されることもなく生体情報を計測することができるので、高齢者や赤ちゃんをはじめ、どんな人にとっても身体に負担をかけずに使えます。

出典：<http://www.XXXXXXX.jp/>

4.内部環境（自社）分析

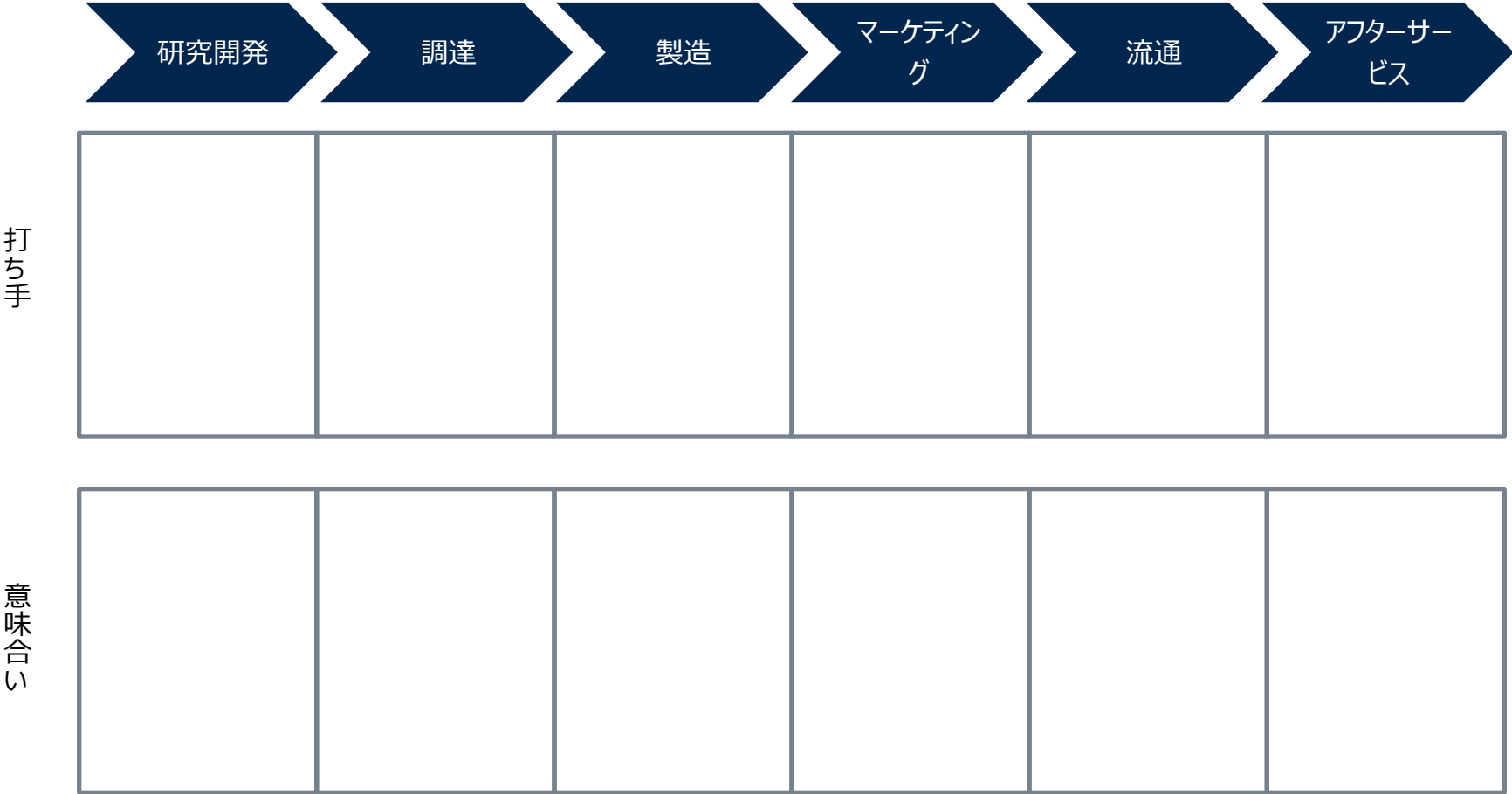
4-1.SWOT分析（参考）

強み	弱み
機会	脅威

4-1. Cross-SWOT分析 (参考)

		内部環境	
		強み	弱み
外部環境	機会		
	脅威		

4-2.ValueChain分析（参考）



4-3. 自社保有特許について

現在までに確認される特許出願は、14件あるが、12件が既に権利消滅或いは、権利化に至っていない。
現在権利化されている特許2件は、以下のとおり。

特許第XXXXXXXX号 XXXXXXXX

特許第XXXXXXXX号 XXXXXXXX

いずれも自社新規事業との関連性はない。

4-4.アライアンスについて

2013年からは、医療ヘルスケア分野への進出準備として、XXXX向け睡眠モニタリングシステムの開発を始めた。開発中の「非拘束型睡眠モニタリングシステム」は、XXXXの保有特許をライセンス契約により活用。ベッドに取り付けたセンサーから、体動・呼吸・心拍を読み取る際にXXXXXXXXXX処理という特許技術を採用し、商品化についてもXXXXと共同で取り組んでおり、販売計画に入るところである。

本新規事業分野『睡眠モニタリングシステム』のアライアンス先は、『XXXX』である。

上記特許技術に関する特許は、第XXXXXXXX号と特定された。

当該特許は、前述のとおり、ベッドに取り付けたセンサから、体動・呼吸・心拍を読み取る際にXXXXXXXX処理を利用して、ノイズである体動信号を除去し、呼吸信号と心拍信号とを分離する技術である。

つまり、当該特許は、信号処理の部分に特化された技術である。

また、その代替案としては、既に、FFT、BPF等で、呼吸信号と心拍信号とを分離する信号処理方法に関する出願が散見される。

フーリエ例：特開2014-XXXXXX（住友電気工業）、特許第XXXXXXXX号（財団法人●●●）、特許第XXXXXXXX号（●●●）。

BPF例：特開2011-XXXXXX（●●●）、特開2011-XXXXXX（●●●）、特許第XXXXXXXX号（●●●）、特開2005-XXXXXX（●●●）、特許第XXXXXXXX号（●●大学）、特開2004-XXXXXX（●●）

当該特許自身は、ユニークな技術であると考えられるが、上述のとおり、信号処理に関する技術であり、また、当該技術分野においては、呼吸、心拍をセンシングする技術は多数存在し、また呼吸、心拍以外のパラメータから睡眠をモニタリングする技術は多数存在し、例えば、当該特許では、除外される体動情報から、睡眠状態をモニタリングする技術も存在する。

以上から、当該『睡眠モニタリングシステム』において必須特許とはなり得ない、と判断され、当該特許1件だけでは、自社ビジネスモデルを保護するには不十分である可能性が高く、また他社の参入障壁となり得る可能性も低いと考えられる。

5.ヒアリング調査

7.ヒアリング調査

ヒアリング項目（案）

- 社長、社員のモチベーションについて
- 今後のロードマップについて
- 自社バリューチェーン、5Fなどの業界の状況について
- 自社の強み、弱み、などについて

6.総合評価

6.総合評価（参考）

総合評価

以下のような論点をベースに、最終的な評価を行います。

- 市場の成長性はあるか？
 - マクロ環境からの影響はどうか？
 - 業界の儲けやすさはどうか？
- 競合の影響力は強いのか？
 - 競合の製品について
 - 競合の特許ポートフォリオは脅威か？
 - 市場のシェアの状況はどうか？
- 自社の競争優位性はあるか？それは何か？
 - 競争優位性はあるか？
 - 顧客が満足する価値を提供できる仕組みを構築できているか？
 - 保有特許によって、参入障壁は構築できているか？
 - 保有特許は、自社の事業に貢献できているか？
 - ノウハウは蓄積されているか？
 - 特許出願する技術とノウハウとして保持する技術の差別化ができているか？
 - 社長、社員のモチベーションはどうか？